

令和6年度学校評価(年度末評価)

<p>本年度の 重点目標</p>	<p>① 教育目標にある「知性ある社会人、品格ある教養人、気力ある生活人」の育成に向けた教育活動を充実させる。 ② 「文武両道」を基本理念として、学習、学校行事、部活動、ボランティア活動等への主体的な取組を推進する。 ③ 本校の特色を生かした教育課程を編成するとともに、新たな大学入試に対応した進路指導体制を整え、第一希望進路の実現を目指した指導を充実させる。 ④ 自他の命を大切に、よりよい社会を実現しようとする態度を養うとともに、健康や安全、防災にかかる意識の向上を図り、将来にわたって健康かつ安全に生活するための知識や態度を養う。 ⑤ 男女共同の社会参画を目指し、支え合う社会の一員として個性や能力を発揮する意欲、態度を養う。 ⑥ 生徒一人1台端末を活用したICT教育の充実を目指し、情報モラル等規範意識の確立を図り、望ましい社会性と公正さを重んじる心や態度を養う。 ⑦ PTA、同窓会、地域との連携を図り、情報発信に努め、開かれた学校づくりを推進する ⑧ 事務処理の効率化、年次休暇取得の推進など多忙化防止への取組を推進し、職員の健康の保持増進や働き方改革を推進する。</p>		<p>B</p> <p>学校評価アンケートの結果から、大半の質問項目が概ね達成されている状況であることが確認できた。ただし、保護者のアンケートの結果については、「分からない」とした回答も一定数あるため、学校の現状について様々な方法で積極的に発信をしていく必要がある。生徒からは部活動や学校行事の充実への要望が多く、保護者からは学習面や進路面の充実の要望が多い傾向にあった。文武両道の理念が達成できるようにバランスを取り、生徒の人間力の育成を図っていく。また、保護者からの個別のご意見では、学習・施設・規則など様々な分野でご指摘をいただいている。こうした評価を真摯に受け止め、今後も生徒にとって安心、安全に過ごせる教育環境の整備に努めていく。 昨今の教員の多忙化へも配慮し、仕事の分業・共有を図りながら職務に当たれるように、風通しの良い職場環境を保つていく必要がある。生徒用端末をはじめとした新しい情報機器の活用を推進していく中で、情報機器に関わる業務の負担が集中しないように負担軽減や情報共有を行い、生徒の学習環境の向上や職場の事務処理の効率化を図っていく。</p>		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項	評価	課題
<p>勤務時間の適正な管理及び長時間労働による健康障害防止 (管理職)</p>	<p>在校時間等調査の活用による健康管理 職員の健康障害防止のための環境整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・在校時間等の状況記録を活用し、業務の適正配分に留意するとともに、教職員の良好なメンタルヘルスの保持に努める。 ・教職員の年次休暇の計画的な使用を推進するための環境整備に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・在校時間等の調査記録が1ヶ月80時間を超える教職員については、面接指導調査の希望の有無や健康状態の確認を行う。また、退校時間を一定に定め、校舎の旋錠時間を徹底する。 ・年次休暇の計画的取得は勿論、普段の声かけ等を通して健康状態の把握に努め、必要時に休暇取得の申請がしやすい環境を整備する。 	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・在校時間の多い職員には日頃から声をかけて健康に留意するよう促したが、時期により特定の職員に業務が集中する傾向がある。そのため、業務の適正な配分や会議内容の精選等の改善が必要である。 ・平常時は職員室を旋錠するおおよそ時刻を決めて声かけを励行し、在校時間は昨年度より減少した。定時退校日の適正化、年休取得の促進等に引き続き努めていくことが必要である。また、朝の打ち合わせのデジタル化やロイロノートによる集約により、職員の健康障害防止に努めることができた。
<p>地域連携(総務部)</p>	<p>校内施設・備品等の整備 PTA、同窓会、地域との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA活動の活性化と教職員との連携強化 ・校内施設の整備 ・防災対策の推進 ・式典実施方法の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者へ積極的に情報を発信し、PTA活動の円滑な運営を補助する。 ・老朽化した物品や施設等の修理、整備を行う。 ・防災意識の向上、式典の充実を図る。 	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページやメール配信などを活用し、保護者への情報発信をより迅速丁寧に行いたい。 ・PTA役員、委員、保護者等の皆様に協力して頂き、各種行事を円滑に運営することができた。今年度、見えてきた課題については、行事運営に反映できるように次年度へ引継ぎをしていく。 ・備品等の設備の充実に向けて、各分掌、教科の要望をつぶさに聞き取り、十分に調整した。庶務部とも連携しながら、さらに設備の更新、修繕に努めていく。来年度は、教室整備も重点的に対応していく。 ・teamsによる始業式、終業式や式典の実施形態、防災減災の啓発については、今後も議論していきたい。
<p>学習指導(教務部)</p>	<p>あいちラーニング推進事業を通じ、学習活動のより一層の活性化を図る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研修などを通じICTの活用に全職員が関心を持って取り組む ・観点別評価の中でも、「主体的に学習に取り組む態度」について、よりよい評価方法を模索する 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修の機会を設定する ・旭野高校生に適した評価方法を模索することを意識する 	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・あいちラーニング推進事業においては、単にICT機器の活用の向上を図るだけでなく、探究的な学習の基礎となる「主体的に学習に取り組む態度」の評価研究を目標にして取り組んだ。評価研究まではたどり着けなかったが、生徒が主体的に取り組む授業実践の研究成果があったと考える。次年度に向けてより研修の機会を増やし、主体的に学習に取り組む態度の評価の研究成果を出したい。
<p>進路指導(進路指導部)</p>	<p>第一志望校現役合格のための「進路指導体制」の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学力伸長の体制づくり ・学力の正確な把握 ・進路情報の提供と共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路LT・補習を充実させる。 ・校外模試の分析の活用を図る。 ・各学年において必要な進路情報の収集と提供・共有。 	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・進路LTは、総合のキャリア教育と関連させながらより充実した内容となるように努めていきたい。 ・補習に少し見直しを入れる予定。来年度以降も充実して継続できるよう努めていきたい。 ・校外模試の活用方法を今一度吟味しなおし、活用分析講座などを生徒向けに開いた。学年会で職員向けに話してもらい、学ぶことが多かった。次年度は文理選択にも利用できるよう見直しをしながら活用していく予定である。 ・今年度から新課程での入試となり、調査書や共通テストの自己採点システムの統一化など新しい内容が多く、進路指導主事の交代もあり、スムーズに進められなかった。今年度学んだことを次年度にしっかりとつなげていきたい。次年度は共通テストがWeb出願になることもある。情報共有・準備を早めに取り組みたい。
<p>生徒指導(生徒指導部)</p>	<p>基本的生活習慣の確立 規範意識・モラル・マナーの向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻防止指導、交通安全指導 ・服装、身だしなみの指導 ・挨拶の励行 ・情報モラルの教育 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活のみならず、社会生活を営む上で必要な基本的生活習慣を身につけさせる。 ・情報モラルに関する知識を身につけさせ、危機管理能力の向上を図る。 ・いじめの情報を全教職員で共有し、学校全体の問題として事案に対処する。 	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣において「時間を守る」ことについては、毎朝登校指導を行い8時20分登校の徹底に努めた。全体的には良好であったが、時間ぎりぎりや8時20分以降に登校する生徒も増えており、交通安全の観点からも時間に余裕のある行動に努めさせた。また、体調不良による遅刻も増加しており、指導の難しさを感じている。 ・情報モラルについては4月に1年生対象に情報モラル・セキュリティ講座を開講しているが、必要に応じてその都度行っていきたい。 ・11月にいじめについてのアンケートを行い、情報の共有を図ることができた。
<p>生徒指導(生徒会部)</p>	<p>学校祭の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・企画時の適切な情報発信 ・HR、部活動との連携の強化 ・委員会活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が主体となってつくる充実した学校祭となるように、情報発信の内容を検討し、適切なタイミングで発信するように努める。教員間や生徒との共通理解を得るべく、積極的に情報交換を行い、改善に努める。 	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・球技大会、体育祭では全館開放やテント設営による暑熱対策等は多くの先生方のご協力もあり、問題なく実施できたが、今後も同様の形で実施するかは要検討である。 ・文化祭では新たな取り組みを実施したが各先生方への情報の共有等が徹底できずにご迷惑をかけた。情報発信方法を検討して、全体に情報が共有できるようにしていきたい。 ・来年度も少しずつでも良い方向に変化をしていきたい。
<p>読書指導(図書部)</p>	<p>図書館利用の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図書委員会の活性化 ・読書推進活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書委員が主体的に活動できるように支援する。 ・教科や学年とも連携を図りながら、生徒への読書指導及び図書館利用の働きかけを積極的に行う。 	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・来館者数は例年並みであるが、貸出冊数はやや減少傾向にある。貸出ジャンルは国内の現代小説が中心であるが、社会科学・自然科学系の新書などもよく借りられた。また、古典文学に関する作品や常設展示の人権に関する作品に興味を示す生徒も見られ、ポップコーナーやブックガイドコーナーの本も人気があった。図書委員はそれぞれの役割に責任をもって取り組み、活発に活動したほか、昨年度に続き有志生徒による図書館活動への参加もあった。しかし、利用者の多くは常連であり、授業やLTでの図書館利用もまだまだ少ない状況である。次年度も引き続き生徒の読書意欲の喚起及び図書館活動の活性化に努めるとともに、教科や学年と連携を図り、生徒の図書館利用をいっそう充実させていきたい。
<p>保健・安全・美化指導(保健部)</p>	<p>心身の健康と安全な学習環境の構築</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断と保健指導の充実 ・安全な環境衛生の維持・改善 ・心身の健康管理の支援の深化 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断の結果を活かし、適切な健康管理を行う。 ・迅速に情報を収集し、個々に適した保健指導を行う。 ・ごみの持ち帰り・分別の徹底を図り、環境へ配慮した行動をとるとともに、一層の校内美化を目指す。 ・安全点検をチェック項目ごとに毎月実施し、危険箇所の早期発見と修繕に努め、安全な環境をつくる。 ・ケース相談会を実施し、情報の共有・早期対応に努める。 	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・養護教諭中心に文化祭企画や講演会の実施、保健だよりの発行を通して「心の健康」の重要性について様々な面からアプローチし、メンタルヘルス向上に取り組んだ。 ・ケース相談会が実施される機会はなかったが、組織として早期に対応できるよう、活用を進めていきたい。 ・ゴミ箱を小型化したことや、文化祭でのゴミ回収方法を変更したことで、ゴミの分別徹底を意識づけることができた。今後も啓発活動をしながら、ゴミの減量・分別をすすめていきたい。 ・庶務部と連携しながら、安全点検で指摘された危険箇所に早期に対応できた。校舎の老朽化もあるため、今後も安全点検の重要性を認識し、入念に取り組んでいきたい。
<p>生徒指導(1年)</p>	<p>活力ある高校生活の実現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶の励行と環境美化意識の育成 ・学習習慣を定着させる学習指導の実践 ・個人面談の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動や学校行事等への積極的な参加を促す。 ・自己の適性や興味関心を探らせ、学習意欲を喚起する。 ・養護教諭等との連絡を密にする。 	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの生徒が挨拶や清掃に意欲的に取り組んでいる。また、学習や探究活動においても、生徒一人ひとりが自己と向き合い、努力を重ねている。全体として良好な高校生活を送っているが、主体性をさらに引き出し、生徒の諸活動を深化させていきたい。 ・次年度以降も精神的な理由で欠席数が増えている生徒や課題提出ができない生徒に対しては教員間の連携を密にとり、学年全体で対応していきたい。
<p>生徒指導(2年)</p>	<p>自主性から主体性へ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的な学習習慣の育成 ・学校行事などへの積極的な参加 ・好ましい社会性の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業や課題を最大限に活用し、基礎学力の定着を図る。 ・計画を立てて自ら学ぶ姿勢と家庭学習の習慣をつけさせる。 ・行事などを通して、社会性を身につけさせる。 ・品格ある行動を意識させる。 	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体としての学校行事や部活動への取り組みは大変よく、その中で成長できたと感じる。学習面でも真剣に取り組むことが継続できていると感じている。今後も授業での学習とともに、模試への取り組みや進路計画といった受験全般に対し、前向きに取り組んでいけるよう、学習面でも、精神面でも進路実現に向けてより一層の支援・指導をしていきたい。
<p>生徒指導(3年)</p>	<p>個性に応じた進路指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・受験に対応した学力の育成 ・生徒理解・適切な対応 ・行事参加と受験への切り替え 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業や補習などを最大限に活用し、受験に対応できる学力の伸長を図る。 ・生徒に応じた進路指導を通して、進路実現を図る。 ・主体的に学習できる力を育成する ・3年生としてふさわしいリーダーシップを発揮し、主体的に行動させる。 ・受験への切り替えをしっかりとさせる。 	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの生徒が部活動を最後までやり切ることで、後輩たちに文武両道の範を示した。 ・他者と協調的に行事に取り組み、個の能力と役割に応じた作業量を分担することで、これまで以上に充実した発表にすることができた。 ・受験への切り替えも集会などのほたらき掛けもあり、しっかりとできた。模試の結果の推移を見ても高いレベルで結果が推移していることから、努力が結果につながっていることがわかる。 ・多くの教員のきめ細やかで、粘り強い指導により、多くの生徒が個々に応じた進路決定をすることができた。
<p>学校関係者評価を実施する主な評価項目</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導の充実について ・進路指導の充実について 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導の充実について 		

【評価基準】 A：十分達成(満足)している B：ある程度達成(満足)している C：どちらともいえない D：あまり達成(満足)していない E：まったく(満足)達成していない